

JAきたみらい

おひさま アラタ

2011



vol.100

5

はいっ ポーズ!

《留迎葉地区・旭一区》

坂下晴香さんと日彩くん

(紹介は2ページです)

特集

- おかげさまで100号
広報誌から見るJAきたみらいのあゆみ
- きたみらい農業に
エネルギーッシュな仲間が

季節の薰り



てん菜の移植作業

春の植え付け時に暖かい天候が続かない。5月の大型連休も肌寒い曇り空と雨の毎日だ。

生産者のみなさんは、雨が上がった畑の状態を見ながら各作物の植え付けに追われている。

てん菜の植え付け作業も、昨年より約1週間遅れて始り、移植機が元気に育った緑の苗を畑に植えていく。

植え付けを終えると、息つく間も無く、1株1株チェックしながらの補植作業が待っている。

てん菜を取り巻く環境は、依然として厳しい状況にあるが、きたみらい地域の基幹作物、そして畑の輪作体系を守っていく上でも大事な作物だ。

昨年は、高温と湿害の影響を受け、収量減となった。作業を進める姿から「今年は収量、糖分ともに良い出来秋を迎える」という意気込みを感じる。

【きたみらい地域における今年のてん菜作付面積は3946haで22万5千tの生産量が見込まれています。なお、写真は5月7日、置戸地区・幸岡の井上一味さん圃場で撮影】



表紙紹介

鯉のぼりのように元気な子に

お母さんの晴香さんは、「鯉のぼりのように元気で活発な子に」、お父さんの祐太さんは「大きくなつたら野球をやらせたい」と話してくれました。
「今回の表紙撮影は、節目の100回です」と話すと、「記念に残るので、とても嬉しい」と喜び表してくれました。

留辺蘋町に近づくにつれて、青空が見え始めた4月22日、坂下さん宅に着くと大きな鯉のぼりが元気良く泳いでいました。昨年の8月6日に、体重2360g、身長47cmの日彩くんの誕生を祝って飾られたものです。

9ヶ月が経った今、すくすくと成長しています。テレビに「おかあさんといっしょ」が映ると、お座りして真剣に見入り、取材中も、お父さんの膝にお座りしながら、テレビを見ていました。

あげたいな」と思わせてくれる日彩くん。好きなのはヨーグルト、そしてお風呂も大好きで、お父さんとお母さんが交替で入れてくれます。



【ご家族紹介】

前列左から～ひいおじいちゃんの仁一さん(79)とひいおばあちゃんの百合子さん(74)。
後列左から～おじいちゃんの忠さん(50)、お父さんの祐太さん(24)と日彩くん(9ヶ月)、そしてお母さんの晴香さん(24)。
坂下さんでは秋小麦、てん菜、タマネギ、加工芋など27.5ha作付けしています。



特集①

「おひさまサラダ」創刊100号記念特集
おかげさまで100号
広報誌から見るJAきたみらいのあゆみ

特集②

きたみらい農業に
エネルギーッシュな仲間が

16

4

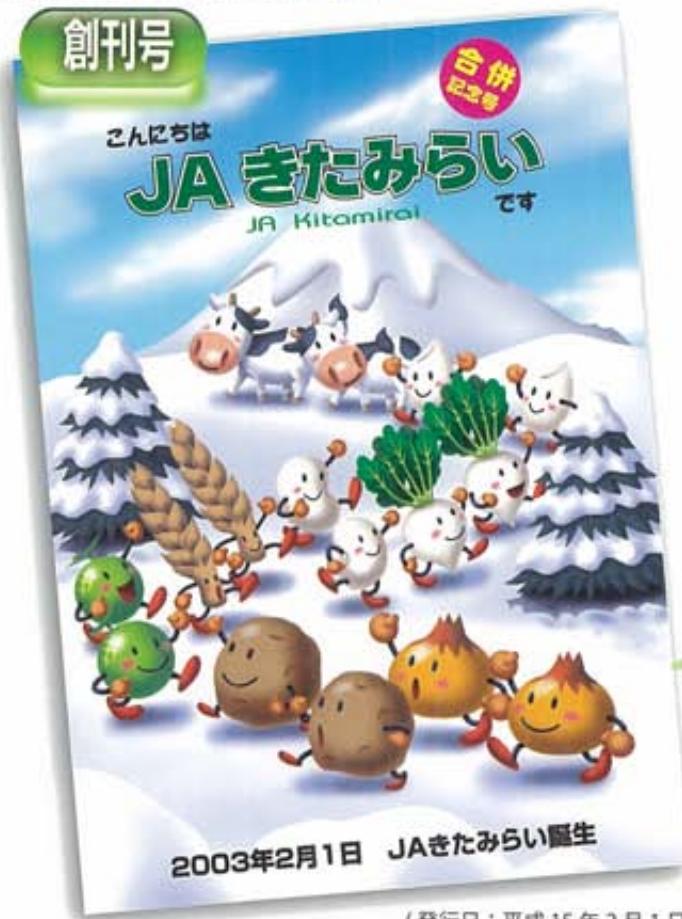
もくじ CONTENTS

○季節の薰り	2
○表紙紹介	2
「鯉のぼりのように元気な子に」	2
○JAきたみらい	
ホットライン東西南北	22
○ほのぼの広場	
・きたみらいのホーブさん	26
・マイティエスト	
・「バッヂワーク」	
・思い出の写真	
・私のパートナー	
・わが家のアイドル	
・大きくなつたら	
・おらがまちのおしどり夫婦	
・まちがいさがし	
・読者の声	
○JAからのお知らせ	
・第8回通常総代会終える	30
○おひさまサラダクッキング 「丸」とタマネギのスープ 「長ネギのチーズ焼き」	36



平成15年2月1日に8つのJAが合併して誕生したJAきたみらい。その誕生とともに発行が始まった広報誌「おひさまサラダ」が、平成23年5月で節目の100号を迎えました。この様に100号を発行することが出来たのも、組合員並びにご家族の皆様、そして地域の皆様など、たくさんの方々のご協力によるものです。

発行当初から、広報理念を「広報誌から広めよう協心・共感の輪」と定め、その理念に沿って組合員交流の一役を担ってきました。今回の特集では、JAきたみらいが誕生して8年4ヶ月のあゆみを「おひさまサラダ」を通じて振り返ってみます。



おかげさまで JAきたみらいのあゆみ 広報誌から見る 100号

(発行日: 平成15年2月1日)

JA合意による合併調印式が行われた後、合併準備室から「2月1日に誕生するJAきたみらいの広報誌・合併記念号の編集を進めてほしい」と依頼があり、「分かりました」と即答したもの、「どんな表紙が相応しいか」「掲載する内容は」「ページ数は」などのイメージが沸かず、真っ白な状態で時間ばかりが経過。

そうした状態の中で、親しみやすい表紙に北見地方の恵まれた肥沃な大地を紹介しようと考え、編集に取り組みました。表紙を飾ったタマネギ、ジャガイモ、乳牛などのキャラクターは、留辺蘂町出身で札幌市在住のイラストレーターに依頼。8つのキャラクターが日本一の生産量を目指して富士山登頂。裏表紙は、富士山の麓の湖から8羽(8JA)の白鳥が一体(連帯と協調)となって元気に羽ばたく姿を表しました。また、常勤役員の挨拶、JAグループと1市4町の首長の祝辞、JAきたみらいの機構図、役員39名の紹介など、それぞれのバックに春夏秋冬の農村風景写真で飾ってみました。

8年4ヶ月を経過した現在、旧JA時に業務を終えた後の編集作業、準備室に足を運んだことが、昨日の様に思い出され、とても懐かしく感じます。

全表紙再登場

合併記念号から100号までの表紙を次ページから改めて掲載しました。第3号からスタートした「はいっポーズ！」は、大勢の方々に登場願い、表紙を飾っていただきました。その中で、子供たちの一歩ずつ成長している姿と氏名などを全号紹介するのが本来ですが、紙面の関係から節目号のみとさせていただきましたことをお許し願います。



第5号 上常呂地区
平成15年6月10日発行



第4号 北見地区
平成15年5月10日発行



第3号 端野地区
平成15年4月10日発行



第2号 置戸ダム
平成15年3月10日発行



PICKUP!

10号

成長を日々楽しみに

10号の表紙（右）は、温根湯地区の森谷裕美さんと詩音くん、佳蓮ちゃんの3人に飾っていただきました。収穫作業も終盤に入った10月25日に、緑肥作物の中で撮影。



▲左から佳蓮ちゃん(9)、お母さんの裕美さん(38)、
詩音くん(11)

7年ぶりに再会した詩音くんは小学6年生、佳蓮ちゃんは小学生4年生。「すごく大人になった！」が第一印象。

詩音くんは、野球少年団「温根湯レンジャーズ」に所属し、ポジションはセンター。夢は「プロ野球選手になること」と話してくれました。ビニールハウスの雪下ろし作業も手伝うなどたくましいお兄さんです。

佳蓮ちゃんは、小1から始めたテニスを頑張っています。図工が得意で、特に人物像を描くのが好きです。将来は「お母さんが作った小麦粉を原料にしたパン屋さんになりたい」と話してくれました。

裕美さんからのメッセージ

家のこと、いろいろ手伝ってくれてありがとうございます。心の痛みが分かる優しい人になって下さい。これからの成長を日々楽しみにしています。



温根湯地区・昭栄
森屋 裕美さん(30)
詩音くん(4)
佳蓮ちゃん(2)

発行：平成15年11月10日

平成15年

○2月 1日 きたみらい農業協同組合誕生

・正組合員数 2,273人	・組合員戸数 1,597戸
常勤体制	
会長 理事 長尾 誠一	
代表理事組合長 高橋 俊一	
代表理事専務 加藤 孝幸	
常務理事 木暮 健一	
常務理事 佐藤 幸光	
常勤監事 加藤 國昭	

平成15年度の作柄は 少雨・低温が作物に影響

○2月 1日 JAきたみらい本所事務所開所式

○3月 17日 日本の食を守るオール北海道大会（50名参加）

○7月 10日

～17日 初めての地区別懇談会開催（584名参加）

○7月 14日 総代に509名が就任

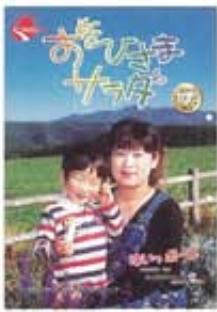
○8月 26日

～27日 全国たまねぎサミット（北見芸文1,400人参加）

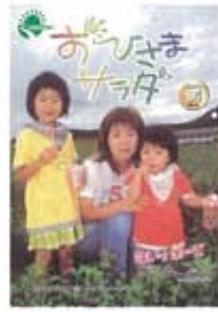
○11月 25日 第24回JA北海道大会
(全道から2,000名が参加。JAきたみらいから役員など35名が
参加)



▲本所事務所開所式



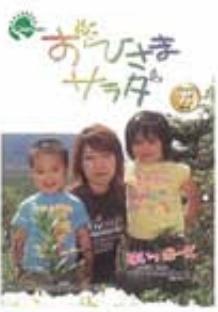
第9号 留辺蘿地区
平成15年10月10日発行



第8号 置戸地区
平成15年9月10日発行



第7号 諶子府地区
平成15年8月10日発行



第6号 相内地区
平成15年7月10日発行





第14号 上常呂地区
平成16年3月10日発行



第13号 北見地区
平成16年2月10日発行



第12号 新年号
平成16年1月1日発行

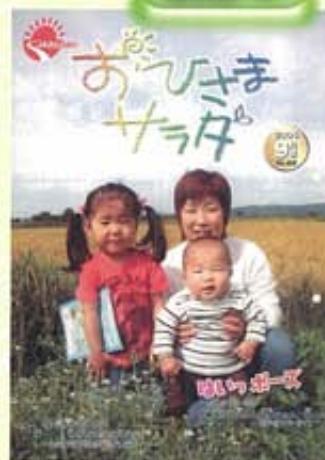


第11号 端野地区
平成15年12月10日発行



PICKUP!

20号



端野地区・川向
中島あゆみさん(27)
爽良ちゃん(3)
虹くん(9ヶ月)
発行：平成16年9月10日

たくましく元気に

20号の表紙は、端野地区の中島あゆみさんと爽良ちゃん、虹くんの3人が登場。

朝の搾乳作業も終えた8月29日の9時頃、黄金色の穂が垂れ下がる水田をバックに撮影。

NOW



▲左から爽良ちゃん(9)、お母さんのあゆみさん(34)、虹くん(7)

撮影から6年8ヶ月の時が流れ、爽良ちゃんは小学4年生、虹くんは小学2年生になりました。

笑顔がお母さんのあゆみさんにそっくりな爽良ちゃんは、絵を描くのが好きで、家の周りの畑で農作業が始まるとスケッチブックを持って出掛けます。将来の夢は「デザイナーになりたい」と話してくれました。

9ヶ月の赤ちゃんだった虹くんもすっかりたくましくなり、小1からサッカーボーイズに入り、練習にがんばっています。将来は「コンサドーレの選手になりたい」と夢を話してくれました。

あゆみさんからのメッセージ

表紙に紹介されてから7年になろうとしています。2人の子供たちも、元気に小学校へ通っています。小・中・高と歩んでいきますが、たくましく元気に育ってほしいです。

- 1月14日～16日、1月21日～22日
網走地方気象台観測史上、始まって以来の豪雪。施設等へ甚大な被害。
■被害戸数 158戸
・ビニールハウス198棟・D型ハウス、牛舎などの建物 169棟
・牛乳廻業（釧路市・北見・相木・端野の酪農家22戸で14トン）
・JA施設関係で 溫視漫地区的倉庫全壊
- 2月12日 JAきたみらいフレッシュミズ設立総会（会員数211名）
- 2月19日 JAきたみらい青年部設立総会（会員数346名）
- 3月 3日 JAきたみらい女性部設立総会（会員数592名）
- 3月17日
～2・4日 冬期地区別懇談会（450名出席）
- 4月21日 第1回通常総代会（本人出席395名、代理12名、書面議決80名）
・新役員を選任 理事32名 監事7名
- 4月22日 第3回理事会 代表理事組合長 高橋 俊一
代表理事専務 加藤 孝幸
常務理事 寺崎 茂一
常務理事 佐藤 幸光
常勤監事 加藤 國昭

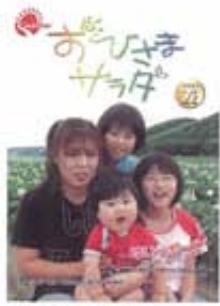
- 5月 1日 コミュニティー広報紙「ぐりんgreen」創刊号発刊
- 7月 9日 平成16年度新規就農者激励状授与式・激励会（就農者29名）
- 7月18日～22日 豊期地区別懇談会（337名出席）
- 9月30日 きたみらい豆類乾燥施設完成（温視漫地区）
総工費 1億8千4百万円

平成16年度の作柄は 豪雪と台風を乗り越えて豊作の年

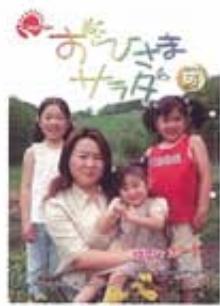


▲第1回通常総代会

平成
16年



第18号 留辺蘿地区
平成16年7月10日発行



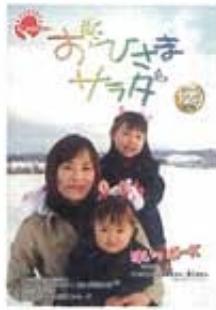
第17号 置戸地区
平成16年6月10日発行



第16号 釧路市地区
平成16年5月10日発行



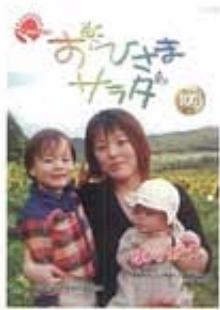
第15号 相内地区
平成16年4月10日発行



第23号 訓子府地区
平成16年12月10日発行



第22号 上常呂地区
平成16年11月10日発行



第21号 北見地区
平成16年10月10日発行



第19号 温根湯地区
平成16年8月10日発行



PICKUP!

30号



相内地区・東相内
北 口 こずえさん(37)
未 鳩ちゃん(4)
祥 夢くん (2)
発行: 平成 17 年 7 月 10 日

好かれる人に



▲左から、未鴉ちゃん(10)、お母さんの
こずえさん(43)、次男の留来亞くん(2)、
長男の祥夢くん(7)

30号の表紙は、相内地区の北口こずえさんと未鴉ちゃん、祥夢くんの3人が登場。色とりどりの花がいっぱいに咲く庭で、7月3日に撮影。

当時、4歳だった未鴉ちゃんは小学5年生となり、バスケットボール少年団に加入しています。昨年の4年生以下の大会で、たくさんのシュートを決めるなどの大活躍で全勝優勝。お母さんが作るロールキャベツは「大好き!」と話してくれました。

一方、2歳の祥夢くんは小学2年生になりました。そして平成21年の4月に留来亞(るあい)くんが誕生し、毎日、お兄ちゃんの役割を果しています。お母さんの料理ではビーマンの肉詰めが大好き。次男の留来亞くんは2歳。北口家のアイドル的存在です。言葉をかけると、お母さんの背中に隠れるちょっぴり恥ずかしがりやさんです。

こずえさんからのメッセージ

子供3人の母親となりましたが、子供たちへの思いは6年前と変わりません。人の気持ちが分かる優しい子に、そして、大勢の人から好かれる人になってほしいです



▲JAきたみらい女性部設立総会



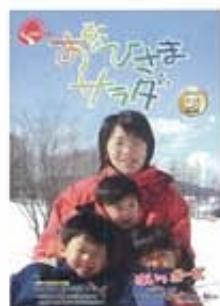
▲JAきたみらい青年部設立総会



▲JAきたみらいフレッシュスポーツ設立総会



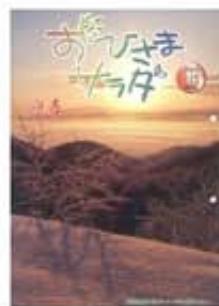
第27号 温根湯地区
平成17年4月10日発行



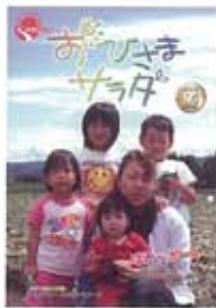
第26号 留辺蘿地区
平成17年3月10日発行



第25号 置戸地区
平成17年2月10日発行



第24号 新年号
平成17年1月1日発行



第32号 訓子府地区
平成17年9月10日発行



第31号 上常呂地区
平成17年8月10日発行



第29号 北見地区
平成17年6月10日発行



第28号 端野地区
平成17年5月10日発行



PICKUP!

40号



相内地区・西相内
飯田美樹さん(29)
ののかちゃん(3)
発行: 平成18年5月10日

元気で優しい人に

NOW



▲左から、ののかちゃん(8)、お母さんの美樹さん(34)、智己くん(3)

40号の表紙は、相内地区の飯田美樹さんとののかちゃんの2人に表紙を飾っていただきました。撮影日は平成18年4月29日、石北本線沿いの小麦畑で撮りました。

3歳だったののかちゃんは小学3年生となり、当時からならっていたエレクトーンは今も続け、昨年の発表会では「仮面舞踏会」などを演奏しました。将来の夢は、エレクトーン教室の先生。平成19年12月に弟の智己(ともき)くんが生まれてから、「すごくお姉ちゃんになりました」とお母さんが話してくれました。

3歳の智己くんは、この春から相内保育所に入所。ちょっと恥ずかしがりやさんですが、取材を終えて帰る際に、笑顔で「バイバイ」してくれました。

美樹さんからのメッセージ
子供が1人増えたことで、家の中も一段と賑やかになりました。子供に対する思いは5年前と変わりませんが、元気で優しい人に成長してほしいです。

- 2月14日～17日 冬期地区別懇談会（出席者423名）
- 4月20日 第2回通常総代会（本人出席322名、代理8名、書面議決117名）
- 6月12日～18日 JAきたみらい役員海外視察研修（ドイツ・フランス）
- 7月1日 平成17年度新規就農者激励状授与式・激励会（就農者26名）
- 7月19日～22日 夏期地区別懇談会（385名出席）
- 11月3日～ JAきたみらい出陣牛3頭上位入賞

平成17年度の作柄は 高温早熟、寒場間隔差が一部見られる



平成17年

▲新規就農者激励状授与式・激励会



第36号 新年号
平成18年1月1日発行



第35号 温根湯地区
平成17年12月10日発行



第34号 留辺蘿地区
平成17年11月10日発行



第33号 置戸地区
平成17年10月10日発行





第41号 訓子府地区
平成18年6月10日発行



第39号 上常呂地区
平成18年4月10日発行



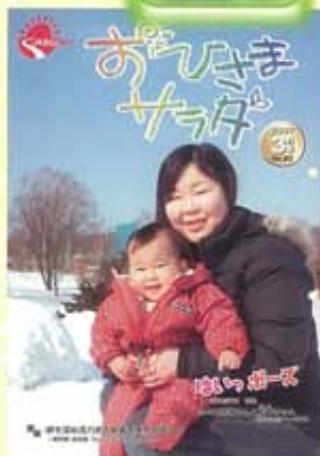
第38号 北見地区
平成18年3月10日発行



第37号 端野地区
平成18年2月10日発行



50号



訓子府地区・駒里
佐々木 晴子さん(31)
友香ちゃん(1)

発行: 平成19年3月10日

NOW



▲左から、友香ちゃん(5)、お母さんの晴子さん(34)、紀香ちゃん(3)

50号の表紙は、訓子府地区の佐々木晴子さんと友香ちゃんの2人が登場。撮影日は平成19年3月2日。澄み切った青空をバックにしたいことから、近くのホクレン畜産研修牧場に移動し、お父さんの和哉さんの力も借りて撮影。

当時1歳だった友香ちゃんも5歳になり、訓子府幼稚園へ元気よく通っています。その年の11月に妹の紀香(のりか)ちゃんが誕生。現在では、お人形の取り合いでケンカもしばしばですが、「紀香、使っていいよ!」と譲ってあげる優しいお姉ちゃんです。

3歳の紀香ちゃんは、この春から訓子府保育所に入所。嫌がらずに通い、お友だちと「おうちごっこ」や「おりがみ」をして遊んでいます。

晴子さんからのメッセージ

50号の写真を撮っていただいた時、紀香を妊娠していました。2人の子供には、たくさんの友だちを作つて、姉妹仲良く元気に育つてほしいと思います。

02月14日	
～17日	冬期地区別懇談会（出席者472名）
04月18日	第3回通常総代会（本人出席308名、代理4名、書面議決141名）
06月27日	平成18年度新規就農者激励状授与式・激励会（就農者31名）
07月	「品目横断的経営安定対策」「米政策改革推進対策」「農地・水・環境保全向上対策」の基本的骨格が提示される。
07月18日 ～21日	夏期地区別懇談会（368名出席）
08月18日 ～19日	大雨で農業被害（2日間の平均総雨量 159ミリ） 8/29 JJA道中央会 飛田副会長 9/1 近藤副知事 大雨被害状況を現地視察
08月26日 ～27日	JJAさだみらい農業祭
010月11日	第24回JJA全国大会
011月21日	第25回JJA北海道大会（役員31名出席）

平成18年度の作柄は8月の大雨、10月の低気圧（冠水・流亡・表土流失）などで被害を受けるも平年並みの秋を迎える



▲ふれあい農業祭

平成18年



第45号 端野地区
平成18年10月10日発行



第44号 温根湯地区
平成18年9月10日発行



第43号 留辺蘿地区
平成18年8月10日発行

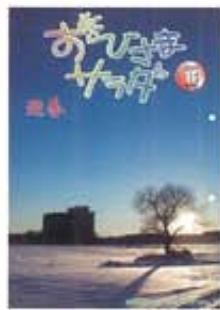


第42号 置戸地区
平成18年7月10日発行





第49号 相内地区
平成19年2月10日発行



第48号 新年号
平成19年1月1日発行



第47号 上常呂地区
平成18年12月10日発行



第46号 北見地区
平成18年11月10日発行



PICK UP!

55号

おひさま
ナラタ 8



北見地区・大正
西原 真知子さん(28)
彪賀くん(2)
励くん(2ヵ月)
発行:平成19年8月10日



▲左から彪賀くん(5)、次男の励くん(3)、
お母さんの真知子さん(32)

- 1月21日 「日豪EPA交渉と私たちの暮らしを考えるシンポジウム
「ハオホーツク」 北見市民会館 1,400人参加
- 1月31日 シンポジウム「私たちの暮らしと国際農業交渉」
北海道厚生年金会館 (全道から2,200人が参加 JAきたみらいから27名が参加)
- 2月14日
～16日 各期地区別懇談会 (出席者353名)
- 2月28日 小麦乾燥調製貯蔵施設完成 総工費 4.4億6千8百万円
- 3月24日 日豪EPA交渉開税撤廃阻止行動集会
北見芸術文化ホール前広場 (1,500人が参加)
- 4月12日 第4回通常総代会 (本人出席309名、代理8名、書面議決77名)
 - ・新役員を選任 理事28名 監事6名
 - 常勤体制 代表理事組合長 加藤 孝幸
 - 代表理事専務 西川 孝範
 - 常務理事 西森 信夫
 - 常務理事 佐藤 幸光
 - 常勤監事 尾崎 和徳
- 6月26日 平成19年度新規就農者激励状授与式・激励会 (就農者23名)

- 7月17日
～20日 夏期地区別懇談会 (出席者363名)
- 10月27日 JAきたみらい第1回農業体験&見て歩きツアーパーク子16組37人が参加
- 平成19年度の作柄は
6月と10月に4回の降雪により玉葱が1000haの被害
を受ける。総じて平年並みの出来秋を迎える。

平成
19
年



▲小麦乾燥調製貯蔵施設



第54号 端野地区
平成19年7月10日発行



第53号 温根湯地区
平成19年6月10日発行



第52号 留辺蘿地区
平成19年5月10日発行



第51号 置戸地区
平成19年4月10日発行



第59号 置戸地区
平成19年12月10日発行



第58号 訓子府地区
平成19年11月10日発行



第57号 相内地区
平成19年10月10日発行

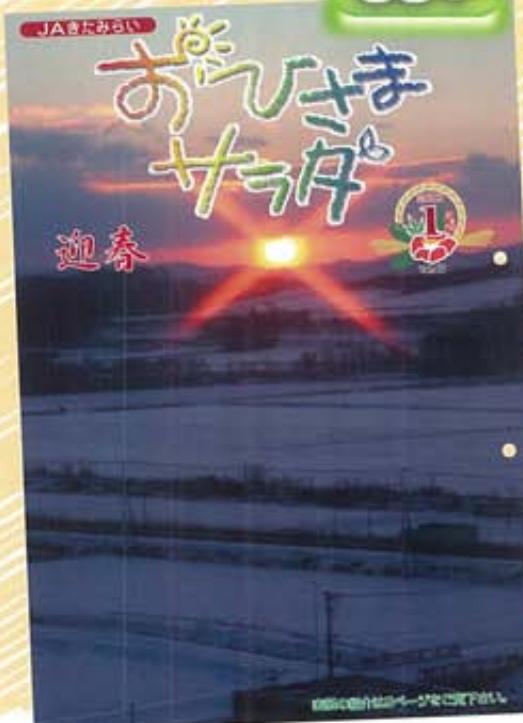


第56号 上常呂地区
平成19年9月10日発行



PICK UP!

60号



小麦施設屋上から撮影

(発行日: 平成20年1月1日)

「おひさまサラダ」を発行して5回目の新年号です。その内、3回の表紙が初日の出を紹介しています。3回目の初日の出は、平成19年2月に完成し、高さ3.3mの小麦乾燥調製貯蔵施設の屋上から、平成19年12月19日に撮影しました。毎日、テレビや新聞の天気予報と日の出時間をチェックしながら撮影日を決めた当日は、農産課の職員2人に協力を得て、ホットコーヒーを飲み、山並みから太陽が顔を出すのをじっと待っていたのを思い出します。

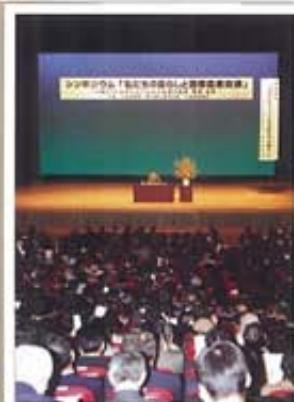
初日の出の撮影で、一つだけ心残りがあります。それは平成18年6月で退職した前参事の柴田恵さんに「〇〇くん、石北峠もきたみらい区域に入るので、峠の日の出を撮影し、新年号の表紙にしては」と宿題を与えられました。随分、難問題を与えるなと思いながら、内心では「撮ってやろうじゃないか」と意気込み、暖かいお茶とカイロを持ち、そして、完全装備をして2年連続で早朝、石北峠に車を走らせました。

しかし、下界と峠の気象条件が異なり、いずれもきれいな日の出を撮影することが出来ず残念な思いをしました。それからの新年号3回は、地域の小学校に協力いただいて子供たちを紹介しました。

日々、体力の衰えを感じながら取材や編集作業を進めていますが、24年度の新年号表紙は、心残りの宿題に再チャレンジしてみようかなと考えています。



▲第1回農業体験＆見て歩きツアー
右写真は唐竿を使っての脱穀体験



▲シンポジウム
「私たちの暮らしと国際農業交流」



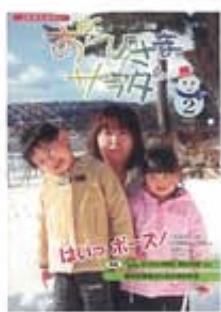
第64号 北見地区
平成20年5月10日発行



第63号 端野地区
平成20年4月10日発行



第62号 温根湯地区
平成20年3月10日発行



第61号 留辺蘿地区
平成20年2月10日発行





第68号 留辺蘿地区
平成20年9月10日発行



第67号 置戸地区
平成20年8月10日発行



第66号 訓子府地区
平成20年7月10日発行



第65号 上常呂地区
平成20年6月10日発行



PICKUP!

70号

人への思いやりを

70号の表紙は、端野地区の水口聖子さんと凛妥ちゃん、響志郎くん、鼓士郎くんの4人に登場いただきました。周りの山々も色づき始めた平成20年10月26日に、自宅裏のもみじの木の下で撮影しました。

NOW



▲左から、長女の凛妥ちゃん(8)、お母さんの聖子さん(29)、次男の鼓志郎くん(2)、長男の響志郎くん(5)

久しぶりに3人の子供たちに会い、成長の早さに驚きました。

小学3年生になった凛妥ちゃんは、「キッズピクスサークル」に加入し踊りとピアノも習っています。「ケーキ屋さんになりたい」と夢を持っていました。

響志郎くんと鼓士郎くんは、川向・小桜保育所に通い、たくさんの友だちと遊ぶのを楽しみにしています。響志郎くんは、大きくなったら「F1ドライバーになるの」と話し、鼓士郎くんは、お姉ちゃんの凛妥ちゃんがいっしょに遊んでくれるので「大好き！」と笑顔で話してくれました。

聖子さんからのメッセージ

活発な男の子が2人もいるので、家の中はいつも賑やかです。体が丈夫で元気で明るく、そして思いやりを持つた人に成長することを願っています。



端野支所・川向
水口聖子さん(27)
凛妥ちゃん(5)
響志郎くん(3)
鼓志郎くん(3ヶ月)

発行：平成20年11月10日

- 1月26日 オホーツク酪農畜産危機突破総決起集会 400名参加
- 2月 8日～ 冬期地区別懇談会（出席者458名）
- 4月11日 第5回通常総代会（本人出席279名、代理12名、書面議決92名）
- 5月30日 J.A.きたみらい新常勤役員体制でスタート
加藤季幸組合長が道厚生連副会長、全共連北海道本部連絡委員会副会長に就任
常勤体制会長理事 加藤 孝幸
代表理事組合長 西川 季範
代表理事専務 西森 信夫
常務理事 坂下 一夫
常務理事 佐藤 幸光
常勤監事 尾崎 和喜
- 7月 1日 平成20年度新規就農者激励状授与式・激励会（就農者23名）
- 7月15日～18日 夏期地区別懇談会（出席者412名）
- 8月 8日 肥料・飼料・原油高騰によるオホーツク危機突破総決起集会 北見芸術文化ホール（700人参加）
- 8月21日 全道農業危機突破総決起大会
札幌市・中島公園「自由広場」道内から5,300人が参加

- 10月4日 J.A.みらいサミット 北見農業会館
- 10月5日 第2回心れあい農業祭
西相内 小麦乾燥調製貯蔵施設前広場 来場者約4,500人

平成20年度の作柄は

昨年に続く3度の降雪で各作物とも甚大な被害を受ける。水稻は日照不足で作況指数は7.0という不良。他作物は総じて平年を上回る出来秋を迎える。



▲9月22日に収録された「あぐり王国北海道」

平成
20年



第73号 上常呂
平成21年2月10日発行



第72号 新年号
平成21年1月1日発行



第71号 北見地区
平成20年12月10日発行



第69号 温根湯地区
平成20年10月10日発行



第77号 温根湯地区
平成21年6月10日発行



第76号 留辺蘿地区
平成21年5月10日発行



第75号 置戸地区
平成21年4月10日発行



第74号 訓子府地区
平成21年3月10日発行



PICKUP

80号



上常呂地区・常川
今田まゆみさん(31)
涼花ちゃん(3)

発行：平成21年9月10日

元気で素直に

NOW



▲左からお母さんのまゆみさん(32)
と悠仁くん(1ヶ月半)と涼花ちゃん(4)

80号の表紙は、上常呂地区の今田まゆみさんと涼花ちゃんの2人が登場。平成21年8月29日に取材に訪れ、庭先できれいに咲く花を手前に入れて撮影しました。

上常呂保育園に通い始めて2年目となった涼花ちゃんに、今年の3月に悠仁(はるひと)くんが誕生し、すっかりお姉ちゃんになりました。悠仁くんが泣いている時は、頭を優しくなであげます。3月23日に生まれた悠仁くんは、体重が3,260g、身長は52.5cmです。涼花ちゃんを始め、家族全員が大喜びです。

1年7ヶ月振りに涼花ちゃんに会い、「おじさん、知ってる?」と尋ねたら、「ウン」と応えてくれ、さらに「ママと写った写真、お部屋に飾つてあるよ!」と話してくれ、嬉しさと同時に、子供は日々成長していることを実感しました。

まゆみさんからのメッセージ

今田家に新しい家族が増え、笑いが絶えないにぎやかな毎日です。涼花は優しい女の子に、悠仁はたくましくとは思っていますが、元気で素直に育ってもらうことが何よりです。

平成21年

- 2月12日
～18日 地域地区別懇談会（出席者526名）
- 3月27日 平成20年度全道JA広報誌コンクール
2年連続4度目の最優秀賞を受賞
- 4月16日 第6回通常総代会（本人出席274名、代理11名、書面
議決93名）
- 6月 1日 経営戦略構想に伴う新たな業務体制がスタート
- 7月 1日 平成21年度新規就農者激励状授与式・激励会（就農者
21名）
- 7月13日
～16日 地域地区別懇談会（出席者375名）
- 8月16日 日米FTA断固阻止オホーツク緊急集会
北見市内ホテル 約1,500人が参加
- 8月20日
～21日 第3回JAみらいサミット（福島県・JA伊達みらい）
- 9月23日 JAきたみらい第2回農業体験＆見て歩きツアー
親子22組46人が参加
- 10月 8日 第25回JA全国大会 東京都
- 10月18日 JAきたみらい第3回農業体験＆見て歩きツアー
親子14組29人が参加

- 11月 7日 小麦乾燥調製貯蔵施設増設工事安全祈願祭
総工費 13億4千8百万円
 - 11月20日 第26回JA北海道大会 役員31名が参加
- 平成21年度の作柄は
4月下旬の大雪、6月の豪雨、7月から10月までの長
雨などから農畜産物に大きな影響を与える。

広報誌コンクールの表彰盾



第82号 置戸地区
平成21年11月10日発行



第81号 訓子府地区
平成21年10月10日発行

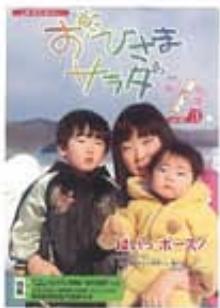


第79号 北見地区
平成21年8月10日発行



第78号 端野地区
平成21年7月10日発行

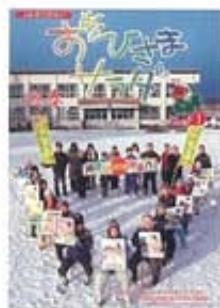




第86号 端野地区
平成22年3月10日発行



第85号 温根湯地区
平成22年2月10日発行



第84号 新年号
平成22年1月1日発行



第83号 留辺蘿地区
平成21年12月10日発行



PICKUP!

90号



置戸地区・豊住
安 西 千 春さん(31)
柊 羽くん (2)

発行：平成 22 年 7 月 10 日

健康が一番

NOW



▲お母さんの千春さん(31)と、
柊羽くん(2)

置戸地区的安西千春さんと柊羽くんの2人
に登場願い、90号の表紙を飾りました。

昨年の6月30日に取材に訪れ、自宅裏の
高台に広がる畑や山々をバックに撮影しまし
た。3歳になった柊羽くんは、この春から置
戸町どんぐり保育園の年少組に入園し、毎
日、町営バスに乗って楽しく通っています。

保育園で行われる「運動会」や「お遊戯
会」などで柊羽くんが活躍するところを家族
の皆さん、今から心待ちにしています。
「大きくなったら何になりたいの?」と尋ね
ると、「ぼくね、アンパンマンになるの」と
答えてくれました。約10ヶ月振りに見る柊
羽くんでしたが、やっぱり「成長している
なあ」と実感しながら取材を終えました。

千春さんからのメッセージ

健康が一番です。そして元気で毎日が笑顔
で過ごせる人になってほしいです。

- 2月12日～ 冬期地区別懇親会（出席者460名）
- 4月15日 第7回通常総代会（本人出席295名、代理10名、書面議決87名）
- 5月30日 JAきたみらい新常勤役員体制でスタート
新役員を選任 理事28名 監事6名
常勤体制 会長 理事 加藤 季幸
代表理事組合長 西川 季嗣
代表理事専務 坂下 一夫
常務理事 大坪 広則
常務理事 山本 寛寿
常勤監事 管崎 秀弘
- 7月 1日 平成22年度新規就農者激励状授与式・激励会（就農者28名）
- 7月13日～16日 夏期地区別懇親会（出席者328名）
- 8月7日 JAきたみらい第1回収穫祭
- 9月1日 なまらドレッシング（タマネギ・人参・白花豆の3種類）
を新発売
- 10月8日～9日 第4回JAみらいサミット（千葉県・JA千葉みらい）
- 10月30日 培育育成センター落成、総工費3億1千5百万円
- 11月14日 JAきたみらい第4回農業体験＆見て歩きツアー（親子16人が参加）

- 11月12日 TPP交渉参加断固反対！締結起大會（札幌市民会館）
- 11月27日 TPP交渉参加断固反対！締結起集会（網走市民会館）
- 1月22日 北見から考えるTPPセミナー 北見芸術文化ホール

平成22年度の作柄は
異常な高温・多湿などにより、穀類産物とも大きな収量減となる。



平成
22
年

▲培育育成センター落成



第91号 留辺蘿地区
平成22年8月10日発行



第89号 刷子府地区
平成22年6月10日発行



第88号 上常呂地区
平成22年5月10日発行



第87号 北見地区
平成22年4月10日発行





第95号 上常呂地区
平成22年12月10日発行



第94号 北見地区
平成22年11月10日発行



第93号 端野地区
平成22年10月10日発行



第92号 温根湯地区
平成22年9月10日発行



創刊100号おめでとうメッセージ

思い出す“きたみらい号”

留辺蘿地区・旭1
坂下 恵子さん (58)

おひさまサラダ100号おめでとうございます。何度も広報誌コンクールで入賞したこととも素晴らしい！

読み返すと、組織が統一され「きたみらい号」という名で新たな出発」の特集には少しだけ関わった1人として、とても感激深く懐かしく思い出しました。

散歩道やほのぼの広場には、温かい気持ちになったり、思わず笑顔になったり、身近な話題も盛り沢山で本当に楽しめます。それに忘れてならない表紙を飾ってくれるお母さん、きたみらいのお嫁さん何と美人の多いことか。豊富な紙面に編集スタッフの頑張りに感謝状を贈ります。

クイズが大好き

端野地区・協和
今村 一郎くん (9)

ぼくは4月から4年生になりました。4年生になって委員会があり、クラスの文化委員になりました。4年生、5年生、6年生で集まり、委員長と副委員長を決めました。

帰りに廊下の体育館近くでポスターを作りました。がびょうで止める時に、ハリがチクチクささっていたかったです。4年生になると、いろいろ大変です。

ぼくは、クイズが大好きです。料理を作るのも食べるのも大好きです。おひさまサラダをみてお母さんとバターを作りました。

5月は遠足もあり、どこへ行くのかな？今から楽しみです。おひさまサラダも！

組合員の架け橋

置戸地区・豊住
仁木 義信さん (56)

毎月、集会で組合員と会う機会とおひさまサラダを楽しみにしている1人です。

「はいっボーズ！」に載ったお母さん、そして子供たちは元気で頑張っているのだろうなと思い出します。そして、いろいろなページに載った人たちも、それぞれ1人ひとりが家庭で、職場で「がんばって！」いることでしょう。

「おひさまサラダ」が今後も組合員の架け橋の一部であることを願いつつ、私もメッセージを続けたいと思っています。

100号



第100号 留辺蘿地区
(発行日：平成23年5月10日)

- 2月 7日 1市2町の学校給食に玉葱と馬鈴薯増量（2年連続）
- 2月14日 ~18日 冬期地区別懇談会（出席者414名）
- 3月26日 東日本大震災生活支援物資を宮城県対策本部に輸送
- 4月15日 第8回通常総代会（本人出席280名、代理8名、書面議決96名）



▲支援物資がぎっしり詰まれたコンテナ

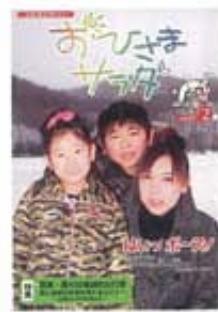
平成23年



第99号 置戸地区
平成23年4月10日発行



第98号 脊子府地区
平成23年3月10日発行



第97号 相内地区
平成23年2月10日発行



第96号 新年号
平成23年1月1日発行

特集

きたみらい農業に エネルギーッシュな仲間が

パート1

地域に

貢献できる職業

温根湯地区・昭栄

森部 啓太さん



北見工業高校卒業後、他産業を経験することも社会勉強の一つと考え
7年ほど企業に勤め、この春から就農しました。

幼い時から、農業という環境に育ち、中学時代から、将来は「両親といっしょに農業をやろう」という気持ちは、心の片隅にあったように思います。農業は自然に左右され、大変だとは思いますが、自分の意欲次第で良し悪しの結果につながり、さ

啓太さんは小麦、てん菜、玉葱を作付けする森部雅博さん、愛子さん夫妻の次男で、昭和61年3月生まれの25歳です。趣味はカラオケ、ドライブ、ゲーム、読書など。

らに、地域に貢献できる職業と考え就農を決意しました。

今は、両親、地域の諸先輩、青年部の皆さんに指導を仰ぎながら、自分に出来ることに全力で取り組み、農業の教養を高めた後、将来の営農を描いていこうと思います。

淡いピンク色の桜やチューリップが咲き、畑は植付けされた緑色の玉葱やビートの苗が青空に映え、春の息吹を感じさせてくれる中、ビカビカのランドセルを背負った新1年生、真新しいスースを着た新社会人、その様子は活気に満ち溢れています。一方、第一次産業の農業を「自分の職場」として、今年も第一歩をスタートさせたエネルギーッシュな青年が、このきたみらい地域に大勢加わりました。その中から「つなぎ服」を仕事着とした23名の皆さんに、これから抱負などを寄せていただきましたので、「特集」として今月号から2回にわたって紹介します。



▲タマネギハウスの温度管理作業を行う啓太さん

小学生時代の夢を実現



置戸地区・秋田

石塚貴士さん

北海道立農業大학교を卒業と同時に、この春から就農しました。私の心中では、農業は長男が継ぐことが当然と思っていました。ま

た、小学生の頃から「大きくなったら、酪農家になる」のが夢でしたので、今、その一步をスタートさせたことに喜びを感じています。

酪農は、毎日が決まった作業の繰り返しです。家族や地域の人たちと一緒に喜びを感じています。

協力しあって、作業の手滑化に努め、作業効率を高めたいと思います。そのためにも、青年部活動や生産組織活動を通してつながりを広め、諸先輩から色々と学び、視野を広げたいと考えています。

貴士さんは、酪農専門経営の石塚義幸さん、淳子さん夫妻の長男で、平成3年1月生まれの20歳です。趣味はドライブと車いじり。

乳質を高めた生乳生産

置戸地区・川南

川畠鉄矢さん

幼い頃から両親の働いている姿を見て、自分にはこの職業しかないと考え、道立農業大학교に進み、卒業

就農して2ヶ月足らず、未熟などころが多いので、地域の皆さんとの交流を大切にし、その中で得た知識や技術をこれからのお農業に生かしたいと思います。

鉄矢さんは、酪農経営の他にてん菜も作付けする川畠清一さん、恵美さん夫婦の長男で、平成2年6月生まれの20歳です。趣味は高校で3年間続けたテニスです。



▲牛床に敷く小麦乾燥ロールを崩す鉄矢さん



▲牛舎清掃を行う貴士さん

将来は

酪農専業経営

訓子府地区・駒里



毛 房 智 幸さん

としてもわからないことが多いですが、農協青年部や酪農青年部の活動等を通じて、先輩皆さんの指導をいただきながら、勉強していきたいと思います。

たいと考えていました。

この春道立農業大学校の農業経営研究科を卒業し就農しました。高校生のときに家の手伝いをしている時から、将来的には農業を継ぎたいと考えていました。

現在は、酪農と畑作の複合経営ですが、将来的には酪農専業に近い経営形態に移行できたらと思います。

そのために牛舎の増築をしたいです。まだ、農業者としても社会人

智幸さんは、酪農経営のほかに畑作三品を作付けする毛房剛さん、智恵美さん夫妻の長男で、昭和63年6月生まれの22歳です。

趣味はバイクとドライブ。

高品質な農産物生産を

訓子府地区・高園

大 坪 辰 矢さん

維持しながらも、規模を拡大し、今よりも良品質な作物を生産していくことです。

今後は、両親や周りの方々から、出来るだけ多くのことを学び、JA活動や青年部活動に積極的に参加して、知識の向上や仲間作りに励んでいきたいと思います。

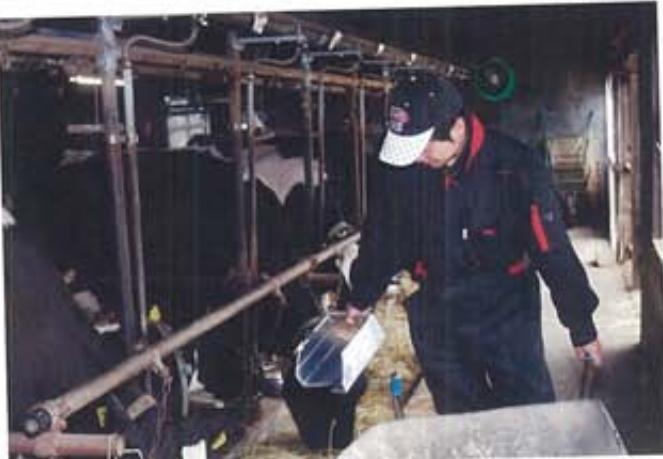
就こうかと考えたときに、幼い頃から身近にあった農業に携わりたいと、いう気持ちと、家族が喜んでくれる仕事だと考え就農を決意しました。目標は、現状の経営や生産組合を

辰矢さんは、小麦、てん菜、馬鈴薯、葉草、メロンを作付けする大坪廣則さん、一江さん夫妻の長男で、昭和63年8月生まれの22歳です。

趣味は野球とドライブ。



▲てん菜の生育状況をチェックする辰矢さん



▲給餌作業を行う智幸さん

東京農業大学を卒業して、この春に就農しました。

大学時代、自分が将来どの仕事に

就こうかと考えたときに、幼い頃から身近にあった農業に携わりたいと、いう気持ちと、家族が喜んでくれる仕事だと考え就農を決意しました。目標は、現状の経営や生産組合を

農業の面白さと 達成感に

訓子府地区・弥生



石沢周平さん

昨年から、農業を本格的に手伝つていきましたが、最初は農業をやりたいという気持ちはありませんでした。しかし、一連の作業を覚えて

いく内に、面白さや達成感を感じるようになり、徐々に農業を継ぎたいと思うようになりました。

今は、目の前にある仕事を1日1日こなしていくことで精一杯ですが、もう少し余裕が出てきたら、もっと

品質や収量を上げるために、レベルアップしていきたいと思います。

今は、共同作業などでしか地域の方々の交流はありませんが、今後はJA青年部に入って、多くの人と交流していけたらと考えています。

両親と共に 汗を流したい

相内地区・美園

大武弘幸さん

育ってきた中で、いつも「いつかは農業をやろう」と思っていました。故郷を数年離れて「両親の力になれる」、いっしょに汗を流そう」という思いが強くなつたことが、就農しました。

小さい頃から、両親の背中を見て

札幌市内でバティシエの仕事をしていましたが、この春、故郷に戻り就農しました。

育ってきた中で、いつも「いつかは農業をやろう」と思っていました。故郷を数年離れて「両親の力になれる」、いっしょに汗を流そう」という思いが強くなつたことが、就農した

周平さんは、水稻、小麦、小豆、てん菜、馬鈴しょを作付けする石沢和也さんの長男で、昭和63年12月生まれの22歳です。

趣味は映画鑑賞とゲーム。



▲水稻の育苗ボット作りを行う弘幸さん



▲水稻の発芽状況を確認する周平さん

社会系研究で農業意欲高まる

北見地区・上仁頃



齐藤翔平さん

北見地区・上仁頃

札幌国際大学を卒業し、この春から就農しました。大学で社会系の研究をしていくうちに、日本における食料自給率の低

さ、食料基地北海道の役割、農業の多面的機能、食を生産する農業の大切さなどを知り、農業を営む実家で「食に携わる仕事がしたい」と考えたことが就農した要因です。その中で、自分の役割や将来を目指

す農業は、そく言葉にして表せませんが、父に教えてもらい、さらに青年部活動にも積極的に参加し、様々な知識や技術を身につけ、人のつながりも大切にしながら、頑張ってみたいと思います。

翔平さんは、小麦、玉葱、てん菜、白菜を作付けする齐藤和雄さん、はるみさん夫妻の長男で、平成元年2月生まれの22歳です。趣味はサッカー。

自分で作った野菜を消費者に

北見地区・豊地

井上竜介さん

と考え、就農を決意しました。自分が生産した野菜を、消費者に安心して食べてもらうためにも、早く仕事の流れを覚えることが一番だと思っています。そのためにも、講習会、地域行事、青年部活動には積極的に参加して、いろいろな情報収集に努めなければと考えています。

竜介さんは、小麦、てん菜、馬鈴薯、玉葱などを作付けする井上工剛さん、峰子さん夫妻の次男で、平成元年4月生まれの22歳です。趣味はスノーボードと車いじり。

北見高等技術専門学校の自動車整備科を卒業後、1年間、いすゞに勤めていましたが、この春から就農し



ました。他産業に勤めながら農業を見ているうちに、毎日、畑やハウスで頑張る両親の姿に、今の経験を生かして農業を継いで、父の片腕になろう



▲タマネギ苗の葉切りを行う竜介さん



▲てん菜苗の生育をチェックする翔平さん

北海道農業の一翼を担いたい

菊池 大悟さん



端野地区・協和

上、そして、自分と同じような後輩者が就農しやすい環境を作っていくらうと思います。JA青年部にも加入しましたので、学習会や交流会等に積極的に参加し、他の地域の方々とも交流を深めたいと思います。

大学を卒業後、昨年の5月まで神奈川県等で人材派遣会社に勤めた後に就農しました。

就農を決めた大きなポイントは、

地元を離れて働いている内に、改めて故郷と農業の良さに気付いたからです。日本の食を支えている北海道農業、その一翼を担っていきたいと考えます。

当面の目標としては、品質面の向

大悟さんは、麦類、てん菜、種子馬鈴しょ、玉葱を作付けする菊地広さん、智江子さん夫妻の長男で、昭和56年7月生まれの29歳です。

趣味は釣り、車、バイクです。

農業はおもしろい

端野地区・忠志

野々下 秀幸さん



短大卒業後、自動車販売会社で整備士として働いていました。
小さな頃から、農作業を手伝つて

いたこともあり、農業にはとても魅力があり、面白いと感じていたので、就農を決意しました。

将来的な目標としては、規模を拡大（夢は100ha！）しながらも、

秀幸さんは、水稻、畑作三品、アスパラを作付けする野々下聰さん、千尋さん夫妻の三男で、昭和56年10月生まれの29歳です。

趣味は車とバイク。

品質は落とさず、良質な作物を作りたいと思います。

また、今年入部したJA青年部活動を通して様々な人達と交流・情報交換して、自分の知識や技術の向上を図っていきたいと思います。



▲水稻育苗ハウスでトンネルを作る秀幸さん



▲てん菜育苗の温度管理を行う大悟さん

グリーンアスパラ 7規格に選別

~今季の出荷量

7.5トント見込む~

AINONAI

相 内



▲規格ごとに選別を行うパート従業員

南北

▼勉強会に参加した部員のみなさん



OKETO 置 戸

畠の巡回で
適正散布時期を

~農薬勉強会に
部員12名が参加~

ハウス栽培のグリーンアスパラの収穫作業が始まり、地区事務所の選果場では4月20日から選別作業が始まりました。

パート従業員の皆さんは2L、L、M、Sなど7種類の規格毎に選別し、1束150㌘に束ねられます。今年の面積は約5㌶で、8月下旬

まで出荷が続けられ、総出荷量は約7.5㌧が見込まれています。

ハウス栽培の最盛期を迎えた後は露地栽培、立莖栽培と約5ヶ月間のリレー出荷で、今年も甘味があり、みずみすしいグリーンアスパラが消費者の食卓に届けられます。

(中川 裕二)

青年部置戸支部の農産部会は4月4日、地区事務所で「農薬勉強会」を開き、部員12名が参加しました。

網走農業改良普及センターの荒木専門普及員を講師に招き、畑作物の防除などについて学びました。

荒木専門普及員は、「22年産の秋まき小麦は、開花始め以降の降雨水や高温により、急速に開花したこと

伴い適期防除を逃し、赤かび病が発したので撒布時期を見逃さず行ってほしい」との説明に、参加者は真剣な眼差しで聞き入っていました。中川隆部会長は「今後も継続して勉強会を開いていきたい」と意気込みを話してくれました。

(酒井 沙織)

温根湯鹿防護柵維持管理組合は7つの支部で構成されています。その一つの大和支部（松浦利男支部長）は4月22日、川北地区的鹿柵補修を行いました。この補修作業は毎年、春と秋に鹿柵の補修箇所の有無点検巡回を行い、鹿の圃場侵入を防ぐものです。当日は天候にも恵まれ、植え付け前に補修しようと生産者6名が参加

して、雪の重みなどで垂れ下がった網50メートルを修理しました。松浦支部長は「破れたり壊れたりした場所を放置しておくと、そこから鹿が入り、農作物被害が拡大するため、補修は欠かすことが出来ない大事な作業。今後も継続して行っていく」と意気込みを話してくれました。

（佐藤 敏文）

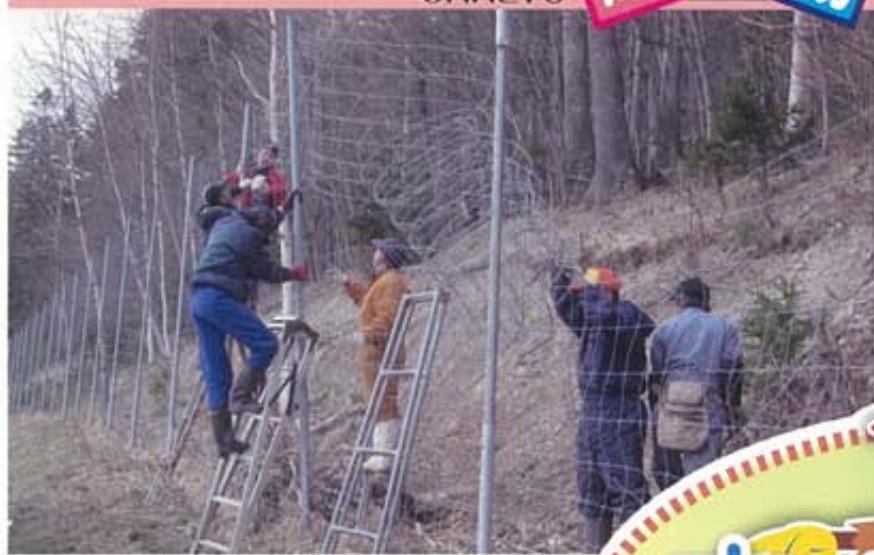
鹿柵補修で農作物被害を防ぐ

～春の巡回で

50㍍修理～

ONNEYU

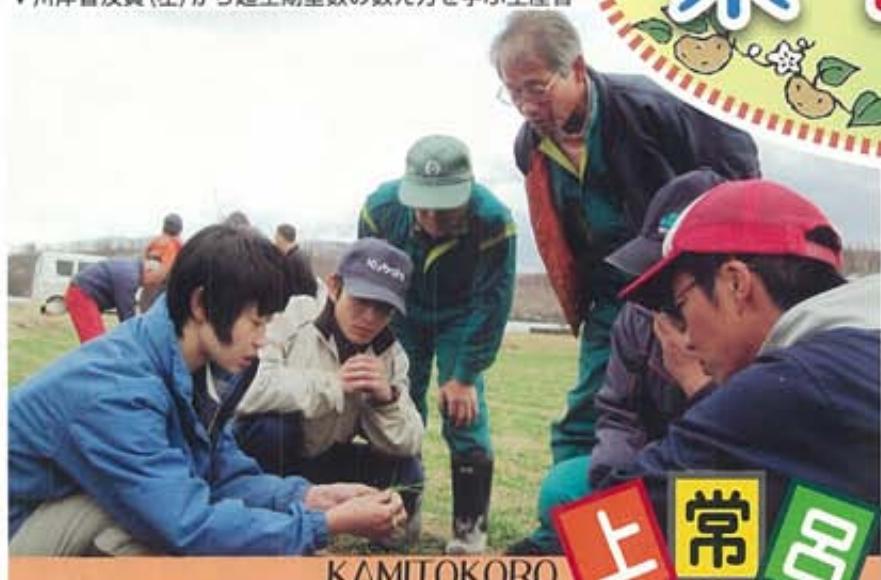
温根湯



▲鹿柵の修理を行う生産者のみなさん

東西

▼川岸普及員（左）から起生期茎数の数え方を学ぶ生産者



KAMITOKORO

上常呂

小麦畠で栽培技術講習会

～生産者30人が収量増のポイント学ぶ～

秋小麦の栽培技術を高め、収量増につなげる講習会が4月8日、2戸の生産者圃場で行われ、生産者やJA職員など30人が参加しました。

網走農業改良普及センターの川岸普及員は、収量を高めるための条件や起生期茎数の判断、止葉期までの窒素施肥方法などについて、具体的な実例を出して説明。

「きたほなみ」がスクスクと育ついる圃場で、起生期茎数の数え方を学びましたが、川岸普及員は「自分の圃場でも実践しよう」と、参加者に呼び掛けました。生産者の皆さんには、起生期の茎に触しながらの意見交換、雪腐れ病の質問も出るなど有意義な講習会となりました。

（加藤 正人）

地域農業の発展と豊穰を願い

～馬頭祭に

30人が参列～



▲30人が参列して行われた馬頭祭

北見市大正地区の大正神社で4月14日、地元農家と市役所や普及センターなど30人が参加して「馬頭祭」が行われました。開拓当時、馬は農耕馬として活躍したのを始め、治水、道路整備、荷馬車や馬そり、さらに冬の造材作業などに欠かすことが出来ないほど、生活の大黒柱でした。

大正14年11月18日に、馬を祭る石碑が建てられ、毎年、馬頭祭の日に慰靈しています。また、春の當農が事故なく終える安全祈願と、豊穰の秋を願つて行かれています。慰靈後には、焼き肉を囲み、間もなく始まる植え付け作業などの会話が弾んでいました。

(塩田こず恵)

南北



KUNNEPPU

訓子府

技術向上を目指し てん菜育苗ハウス巡回

～18名が参加して

ハウスで意見交換～

青年部訓子府支部の畑作専門部（田川忍部長）は4月14日、部員のてん菜育苗ハウス巡回視察を行い、部員を始め、普及センターと北海道糖業の職員など18名が参加。部員間の育苗管理の平準化と技術向上を図ることを目的に、毎年行われています。各部員の育苗ハウス巡回を行うことで、生育状況の違いが把握でき、さらに部員自ら育苗管理

の説明を行うことで、質問と意見交換の場ともなります。参加した部員は「昨年の低収低糖の関係から、今年はより一層の育苗管理の徹底が必要」と話していました。同専門部では、これから1年を通して、畑作3品の試験を行い、より一層の技術向上を目指しています。

(吉澤 誠)

端野町農業情報研究会（寺崎博会）は4月11日、地区事務所で第17回通常総会を開き、会員52名が出席しました。寺崎会長は「人と人とのつながりを大事にし、一つひとつ実績を積み重ねてきたことを忘れず、様々な輪を創り出せる団体にしていこう」と挨拶。

議長に五十嵐亨さんを選出し、22

年度の事業と決算報告、23年度の活動方針案と予算案が審議された後、全議案が承認されました。

同会は平成6年に設立され、パソコン簿記研修や経営分析、農業政策の意見交換などの活動を展開していますが、今後のさらなる活動の充実が期待されています。

（扇谷 光輔）

留辺薬地区の玉葱振興会とてん菜振興会は4月14日、両会の会員23名が参加して、4件のハウスと1件の圃場を巡回しました。

本年は、玉葱・てん菜とともに苗の生育状況は順調に進み、青々とした苗を目の前にした会員皆さん姿にも安心した様子が伺えました。

ハウス巡回では、網走農業改良普及センターの岩間・橋本両普及員が

及センターの岩間・橋本両普及員が育苗後期から移植までの管理ポイントを説明。その後、青空の下で、小麦の栽培技術講習会も行われました。参加した会員は、春の訪れを待ち望みながら、今年の営農のスタートへかける意気込みが伺えました。

（菅原 明希）

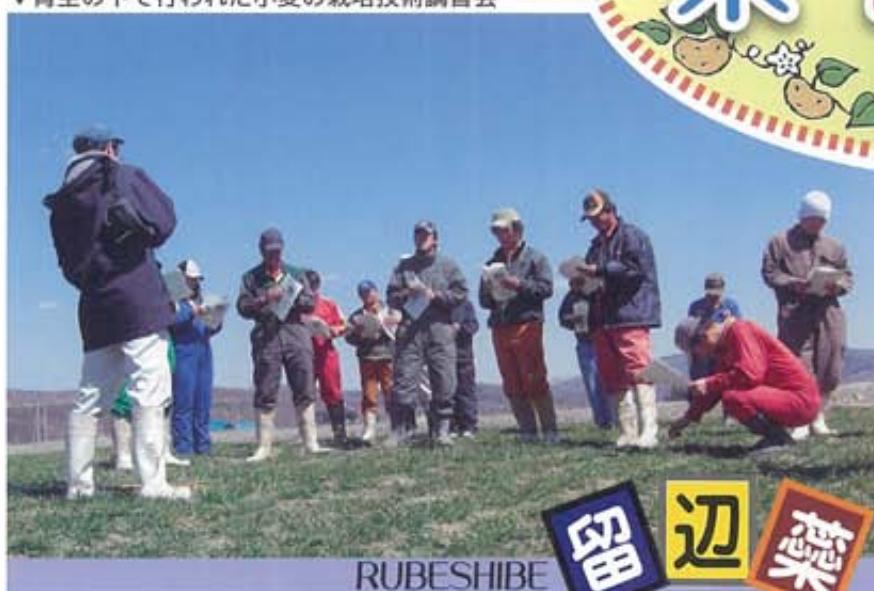
活動実績を 次のステップに

～農業情報研究会 総会に52名が出席～



▲52名の会員が出席して開かれた第17回総会

▼青空の下で行われた小麦の栽培技術講習会



RUBESHIBE

順調な苗生育に 生産者も笑顔

～玉葱とてん菜の 育苗ハウスを巡回～

端野

東西

留辺薬

ほのぼの広場

想い出の写真

トラクター導入

この写真は昭和40年5月頃、地域の農家7戸で「滝ノ湯トラクター組合」を設立し、事業で46馬力のトラクターやプラウを導入。納車の時に撮影されたもので、本條さんが23歳の時でした。

本條さんは、同組合の運転長を任せられ、春と秋の繁忙期には2人1組で、昼夜24時間体制で耕起や整地作業を行いました。当時は、農耕馬が活躍していた頃で、構成員全員が車のハンドルを握った経験もなく、もちろん運転免許も持っている人はいませんでした。

そのため、北見市内の教習所に「1週間泊り込みで免許を取得した」と話してくれました。また、この頃は家族労働力が豊富で、ジャガイモ拾いの収穫時は、隣近所で25人位を集めることが可能でした。今は機械化され、たくさんの人を集めることは難しい時代となっています。

本條さんに、青年時代の思い出を伺うと「大和地区的青年団に入り、演劇の練習や活動が楽しかった。団員も100人以上で、いろいろな活動を通じて、伴侶を見つけた人も多かった」と話してくれました。

同組合も昭和47年に「滝ノ湯共撲組合」に変更し、5戸でレタス栽培に取り組み、平成13年まで共同出荷を行っていました。現在は3戸で、主に機械の共同利用を中心に進めています。

(佐藤 敏文)



上常呂地区・常川
合田多美子さん(61歳)



▲合田さんが作った数々のパッチワーク作品



きたみらいの
ホープさん

農業技術の早期習得

温根湯地区・平里

仁義 泰明さん(21歳)



泰明さんは、秋小麦・てん菜・契約馬鈴薯・花豆を作付けする仁義実さん、直子さん夫妻の長男で就農して2年目です。

趣味は?

ドライブやゲームをして遊んでいます。

理想の女性は?

優しい人。お互いに切磋琢磨できるような人が良いです。

結婚はいつ頃までに?

30歳までには何とか。

好きな食べ物は?

肉と野菜です。基本的には嫌いなものはなく、何でも好きです。

休日はどんな事をしていますか?

特に決まったようなことはなく、家に猫が数匹いるので猫の世話とか、後はぶらっと出掛けたりします。

農業に対する抱負を

就農2年目で、まだまだ未熟。経験をたくさん積んで農業技術を早く習得したいです。

(佐藤 敏文)

6月号の「ホープさん」は、JAきたみらい青年部訓練子府支部の?さんを予定しています。広報編集委員が、突然、取材にあ伺いすると思いますが、何卒、ご協力願います。

私のパートナー



今月号の“私のパートナー”は、6ヶ月の陽菜ちゃんを抱っこしながら「笑いが絶えない、賑やかな家庭を築きたい」と話してくれた齊藤宏幸さんと未来さん夫妻を紹介します。

家族3人で旅行

北見地区・美里

齊藤 宏幸さん(34歳)
み未 来さん(29歳)

Qご結婚されたのはいつですか？

2009年1月7日に入籍しました。

Q知り合ったキッカケは？

友人の紹介です。

Q初めて会った時の印象は？

宏幸さん「親しみやすい人だなあ」

未来さん「静かな人だなあ」

Q結婚を決意した大きなポイントは？

いっしょにいて楽しいからです。

Q未来さんの出身地は？

網走出身で、重機販売会社で事務をしていました。

Q子どもは何人？

今、6ヶ月の女の子がいますが、2~3人は欲しいです。

Qどんな家庭を築きたいですか？

笑いの絶えない、賑やかな家庭を築きたいと思います。

Q今後の目標、あるいは夢を？

家族3人で、旅行に行きたいです。

※未来さんにお座りしているのが、6ヶ月の陽菜(ひな)ちゃんです。

(塩田こず恵)



【写真説明】

46馬力のトラクターを地域の皆さんで囲んで撮影された記念の1枚。なお、運転席に座ってハンドルを握っているのが本條さんです。

温根湯地区・滝湯

本條 喜代一さん(69歳)



マイティースト パッチワーク

My Taste

合田さんは、10年前からパッチワークを始めました。そのキッカケは、友人に誘われて公民館講座で習い始めたこと。昔から裁縫が好きだった合田さんは、我流ながらも農作業着を作るなど、コツコツと挑戦していました。

パッチワークは、最初に型紙を決めてから配色を決め、布を選び、縫い合わせていくのが手順です。その中でも、どの様に布の色を生かすかが重要なポイントとなることから、「配色のデザインを考えるのが難しいですが、逆に1番楽しい」と話してくれました。

2人のお孫さんもパッチワークに興味を持ち、フェルト生地のストラップを作つて、「おばあちゃんへ」とプレゼントされたのが、とても嬉しかったようです。

今、構想を練っている一つは、着物の生地を利用した「タペストリー」や「ベットカバー」の大きな作品に挑戦すること。自宅には、合田さんが作ったパッチワークの他に、木工作品も飾られています。最後に「趣味の時間を作れるのも、夫の理解と協力に感謝しています」と話す合田さんのにこやかな姿が印象的でした。

(加藤 正人)



大きくなつたら



優しい保育園の先生

葵衣ちゃん(左)
わたしは大きくなったら保育園の先生になりたいです。どうしてかというと面白そうだし、小さな子供が好きだからです。

保育園に通っているときに優しい先生がいたので、そういう先生になりたいです。

トーナツ屋さんに

恋衣ちゃん(口)

水稻、畑作4品、しそ、ペコロス、野菜などを作付けする五十嵐務さん、ユウ子さん夫妻の仲良し姉妹です。

(關谷 光輔)

昭和27年、中学卒業後に就農し、今日まで農業に携わってきました。昭和34年に水稻を導入。その後、国の転作事業で水稻などを止め、昭和58年頃から玉葱へと移行し、玉葱専業農家に転換しました。その後、地域の支援を受けて、旧農協の監事や社協の理事なども歴任。また、農閑期になるとマイクロバスの運転を頼まれ、家を留守にすることが多い太田さんは、「妻には苦労をかけたよ」と話してくれました。体が元気なうちは、農作業を手伝い、合間を見て趣味の釣りと温泉旅行を楽しみにしています。

日出男さんの従姉妹と友達だったこともあって知り合い、昭和37年結婚し、太田家に嫁ぎました。思い出は、2人で映画を観に行つたぐらいですが、結婚式の翌日、日出男さんの親戚の子供たちに「あねすび」をお弁当で作ってあげたことは、今でも話題になります。

それから毎日、家族のお弁当を20年間作り続け、今振り返ると苦労半分、楽しみ半分だったことのようになります。これからは温泉へ行きながら、2人で助け合って、楽しんでいきたいです。

吉華詩

ほのぼの広場



相内地区・西相内
じ えい
中 村 隼 瑛くん(1歳1ヶ月)

音楽大好き！

音楽が好きな隼瑛くんは、テレビにアンパンマンの歌が流れると、とても嬉しそうに踊ります。オープニングの主題歌が終わると、アンパンマンの物語を見なくなります。テレビの他にも、音の鳴るオモチャが大好きです。

最近は、指をさすことを覚えました。食べ物の好き嫌いは特になく、なんでも好んで食べててくれますが、その中でも、みかん（柑橘類）が集瑛くんの最近のお気に入りです。

お母さんの千恵子さんは「たくましくて、優しい子に育ってほしい」と話してくれました。

隼瑛くんは、中村圭一さん、千恵子さん夫妻の長男です。

(中川 裕二)



訓子府地区・弥生

太田 日出男さん(73歳)
つや子さん(72歳)

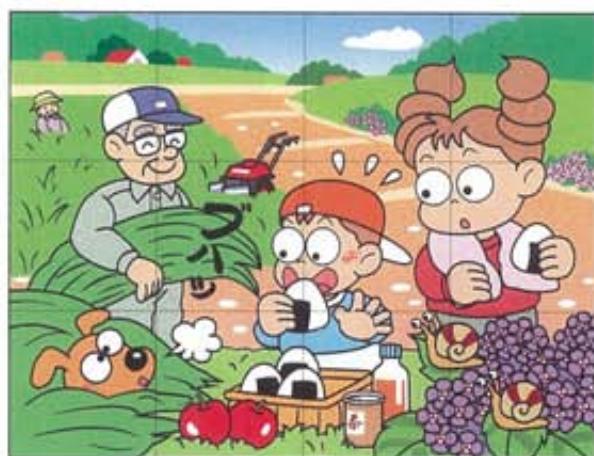
まちがいさがし

Bのイラストには、Aのイラストと違う部分が5カ所あります。間違っている部分を右下のイラストの中の数字でお答え下さい。

A



B



4月号クイズの当選者

4月号のまちがいさがしの答えは「2. 5. 8. 9. 11」でした。正解者42名の中から抽選の結果、当選者は次の方々です。尚、抽選はJAきたみらいの山本常務にお願いしました。

() 内は地区名

- ・大関 博子さん(温根湯) ・萩原 裕介さん(相内)
 - ・橋 芽唯さん(留辺蘿) ・鍋島 主住さん(上常呂)
 - ・広中千代子さん(置戸) ・米森こず恵さん(北見)
 - ・横川 暢子さん(訓子府) ・中島 爽良さん(端野)
 - ・佐藤 雄一さん(訓子府) ・杉本千恵子さん(端野)
- 以上の方々には、こだわり豆腐屋さん・豆ふくのオリジナル詰め合せセットを5個プレゼントします。



応募方法

答えが解った人は、別紙の応募用紙に答え(番号)と広報誌へのご意見

・ご感想を記入してFAXでご応募下さい。抽選で10名の方に、清月の白花豆スイーツ「白花桃子(6個入り)」1箱をプレゼントします。

私

達、ぜいたくは言えない。あの震災を思い出すと涙が止まらない。農業の打撃、原発、風評被害、津波の爪跡、自分の身に降りかがつたらと思うと毎日、考えさせられますね。

(温根湯地区・長谷川和子さん)

大震災が起きて2ヶ月余り。復興に向けたがれき撤去作業などのニュースをテレビで見ると、出す言葉もありません。1日でも、1年でも早く、元に戻ることを願うばかりです。

先

月号の「おひさまサラダ」楽しかったです。レシピ、クイズなど次号も楽しみ待っています。

(上常呂地区・匿名希望)

ありがとうございます。編集委員一同、読者皆さんのご期待に沿うよう頑張ります。

春

の陽さしが気持ちよくなってきました。

農作業の始まりですが、体を鍛えて、怪我のないように楽しく仕事にがんばりましょう!

(相内地区・高橋美智子さん)

元気な体で仕事に頑張ることが一番です。その思いに対して、秋には嬉しい収穫を与えてくれるのではないでしょうか。

3 . IIを機に日本中が様変わりをしてしまいました。今年も春耕期を迎えました。私達は昨年と変わらず農作業することが出来、作物を育てることが出来ます。この幸せをかみしめながら、この春をスタートしたいですね。

(留辺蘿地区・匿名希望)

そこに畑があり、作物を作れることに、改めて感謝することが大事です。そしておいしい野菜を被災地の皆さんに食べもらいましょう。

第8回通常総代会

組合員所得の 安定と向上



▲280名(総代本人)が出席して開かれた第8回通常総代会と開会挨拶を述べる西川組合長(左写真)

**更なる
営農事業強化に向けてスタート**

事業計画など

全6議案を決定

きたみらい農業協同組合の第8回通常総代会が4月15日、北見市内のホテルで総代412名(本人280名、代理8名、書面96名)出席のもと開催し、全議案が原案通り決定しました。

総代会は冒頭、3月11日に発生した「東日本大震災」の犠牲者に出席者全員で黙祷をささげた後、定刻の午前10時に大坪常務が開会宣言。その後、総代、役職員、来賓など出席者全員でJA綱領を朗唱して始まりました。

開会に先立ち西川組合長は、「22年度は4億8百万円の剩余金を計上することが出来たのは、組合員の農協事業結集によるもの」とお礼を述べ

ました。また、政府が参加を進めようとしている環太平洋経済連携協定(TPP)交渉について、「生産者、消費者、地域と共に問題点を強く発信していく」、さらに戸別所得補償制度についても「再生産を可能とする農業所得の確保と、農業者が意欲を持つる農業経営の確立に向け、関係機関と共に提案要請運動に取り組む」と姿勢を示しました。

また、「本年度は第3次農業振興方策並びに中期経営計画の取り組み実践の中間年。営農支援機能を強化するため、出向く営農を基本姿勢に総

INFORM



▲貿易交渉に関する決議(案)を読み上げる
森谷フレッシュミズ会長



▲総代会の議長を務めた丸子益保氏(左・相内)
と松崎常雄氏(右・端野)



▲開会・閉会宣言を行う大坪常務



▲監査報告を行う福田代表監事



▲閉会挨拶を行う坂下専務



▲系統を代表して挨拶を述べる山田JA中央会北見支所長



▲来賓を代表して挨拶を述べる菊池訓子府町長

TPPや日豪EPAなど貿易交渉に関する決議(案)

昨年10月、TPP問題が突然飛び出して、わが国に敵意が走った。

TPPが関税をすべて無くす交渉ならば、わが国の農林水産業や北海道経済は深刻な影響を受ける。国土や地域の差異も加速度する。そんなことは絶対に容認できない。

食料品価格の上昇が中東諸国でのデモや政変一因になるなど、不安定化する世界の食料問題や、輸入食料の過剰に伴う二酸化炭素の排出問題、及び食料輸入に伴い世界中の水資源を奪っている問題を踏まえれば、今こそ国内の農業生産を増大すべきである。加えて、TPP交渉は、食品の安全基準や金融、保険、医療、公共事業など、幅広い分野の規制廃止を目指す交渉といわれている。

米国産牛肉の月齢制限の廃止や、残留農薬や食品添加物の基準の緩和など、食の安全基準が変わるならば、わが国の食の安全・安心が脅かされる。

外国から日本に仕事を求める人々が増えれば、若者の就職難はさらに深刻化し、世界一と言われる日本の医療を支える国民皆保険制度が崩壊すれば、患者の受けける医療サービスに大きな格差が生じかねない。

道内では、農林漁業団体と経済界、消費者団体、労働界、行政など60を超える協会・団体が「この問題は慎重に考えるべきだ」と合意した。

道議会は全会一致でTPP交渉への参加を行わないよう決議した。

我々は、以下の事項の実現のため、オール北海道の意思結集を一層図りながら、強力な運動を展開するものである。

- ①例外なく関税撤廃を原則とするTPP交渉への参加に反対する。
 - ②政府は、WTO、日豪EPAなど全ての貿易交渉に当たり、これまで同様に、例外措置として重要品目の関税を維持するべきである。
 - ③また、政府は、TPPの24ある交渉分野の情報開示と国民生活への影響を丁寧に説明すべきである。
- 以上決議する

平成23年4月15日

きたみらい農業協同組合

力を結集し、組合員所得の安定と向上に向けて取り組む」と決意を述べました。
引き続き、来賓を代表して菊池訓子府町長、山田JA中央会北見支所長の祝辞を受けた後、2名の議長を選任して議案審議に入りました。
議案は22年度事業報告と決算報告、23年度事業計画など6議案が上程され、全件を原案通り決定。
また、TPPや日豪EPAなど貿易交渉に関する決議案(別掲)を、

J Aきたみらいフレッシュユミズの谷会長が力強く読み上げ、満場一致で採択されました。
最後に、坂下専務の閉会挨拶、午後3時10分に全ての日程を終了しました。



▲各提出議案の採択で挙手を持って賛成の意を表する総代のみなさん

置戸地区
小建 豊一さん端野地区
広瀬 顯司さん置戸地区
小嶋 春夫さん訓子府地区
清井 敏行さん

質問・意見を述べられた8名の総代

上常呂地区
角田 誠二さん訓子府地区
大正寺信雄さん置戸地区
佐藤 正光さん北見地区
大森 康正さん

総代の質問と意見

提案した議案に対して、8名の総代より質問と意見が出されました。主な内容は次の通りですが、それ総代会の席上で理事者側より答弁が行われました。

【議案第1号に関する意見・質問】

- ・購買事業の系統利用率低下が見受けられるが、農協離れとなつていいのか
- ・米の圃場サンブル採取が適正に行われているか
- ・玉葱の選果基準について、選果にバラつきがないか
- ・温害により玉葱が減収となつたが、加工配分の救済となる施策はないのか
- ・麦は個別に報告されているが、米のサンブル結果は、個別報告されていないのはなぜか

【議案第2号に関する意見・質問】

- ・乳検組合とヘルパー組合に、事務局を含めて自立した運営を望んでいるが、今後も事務局をJA職員にお願いしたい
- ・組合員とJAとの関係は、地区事務所で構築されるので、地区的職員を減らすべきではない
- ・組合員が1人で出来ないことを、協同の力で行うのがJAであり、組合員も協同組合の原点とJAのあり方について再考しなければならない
- ・センター化に伴い、旧JAの支所の概念を取り扱うことは賛成するが、役員の選出方法は従来から変わっていないため、今後は地区的概念を取り扱ってほしい
- ・北海道信連の経営状況及び自己資本比率の見通しはどうか
- ・系統預金への運用以外に国債等の余裕金運用も検討してはどうか
- ・全共連の出資増口はどのような内容か

・東日本大震災の被災地へのJAの対応内容は

- ・もち米のドリフトに係る収入補填を、JA全体として負担するのはどうなのか



安 孝志さん

乳質改善で見事8連覇

全国でもトップクラスの水準

きたみらい酪農振興協議会（越智孝会長）は4月22日、第8回通常総代会をJAきたみらい訓子府地区事務所で開催ました。

総会に先立ち、平成22年度の乳質改善表彰を行い、安孝志さん（置戸地区・常盤）が8年連続で最優秀賞に輝きました。

同協議会は、JAと一緒に牛乳の衛生向上を図る活動を続け、その中で特に優れた酪農家を毎年、表彰しています。

表彰基準は、生菌数が1ミリルート当たり1万4000個以下（通年）、体細胞は同10万個以下（年間平均）をクリアすることが条件。

最優秀賞を受賞した安さんは、昨年4月からの1年間、生菌数は1000個、体細胞数は2万4000個と、基準を大幅に下回る画期的な成績を収めましたが、これは全国、全国でもトップクラスの水準です。そして、JAきたみらいが昨年10

月に商品化した「きたみらい牛乳」の原料乳にもなっています。

安さんは「家族全員が衛生向上に努めるという共通認識を持ち、当たり前のことを徹底して続けてきた結果」と、謙虚に喜びを話してくれました。また、優秀賞、優良賞、努力賞の表彰も行われましたが、受賞者の皆さん別表の通りです。

乳質表彰者の成績

〈最優秀賞〉

地区	氏名	体細胞数	生菌数
置戸	安 孝志	2.4	0.1

〈優秀賞〉

地区	氏名	体細胞数	生菌数
留辺蘿	今野 春雄	4.6	0.1
置戸	坂本 了一	4.7	0.1
温根湯	畠山 政博	5.7	0.1
置戸	小嶋 春夫	6.2	0.1
端野	木暮 靖志	6.7	0.1
置戸	松田 契一	7.6	0.1
置戸	中井 應義	8.4	0.1
置戸	笛田 幸伸	8.6	0.1
置戸	樋渡 秀晃	8.9	0.1
北見	有限会社 上野牧場	9.0	0.1

〈優良賞〉

地区	氏名	体細胞数	生菌数
置戸	奥山 広美	9.1	0.1
置戸	鈴木 雄二	9.5	0.3
北見	沢野 修三	9.5	0.1
相内	有限会社 小野牧場	9.9	0.1

〈努力賞〉

地区	氏名	体細胞数	生菌数
相内	有限会社 小林牧場	19.6(27.9)	0.4(0.6)

() 内は前年実績



▲越智会長(右)から、8年連続で最優秀賞の表彰を受ける安孝司さん

みらいJA「絆」で連携

被災地の

JJA伊達みらいに見舞い激励

JJA名に「みらい」を冠した全国7JAが連携し、協同の再構築や地域貢献に取り組んでいる「JAみらいサミット」が毎年、実施されています。

JJAの一つ、JA伊達みらいは、3月11日に起きた「東日本大震災」で、米倉庫や建物の損壊、さらに東京電力福島第1原子力発電所事故による風評被害に苦しんでいました。

このため、今年度のJAみらいサミットの幹事であるJA東京みらいが、加盟5JAに呼び掛けて4月5日、東京都内で緊急組合長・事務局会議を開き、JA伊達みらいへの支援策を協議しました。

その結果、支援策として①サミットとして早急に見舞金を届ける

②JA管内の農産物をJA伊達み

いの直売所に出荷販売するか、逆に伊達産の農産物を購入するなどで合意しました。

その合意に基づき早速、4月7日に「JAみらいサミット」を代表して、JA東京みらいの本橋組合長が、伊達みらいを訪ね、大橋組合長に見舞金を渡し、激励しました。

大橋組合長は「JAみらいサミットの仲間の厚意はありがたいです。長期戦は覚悟していますが、地元農業、福島県農業の復興に向け頑張ります」と感謝の言葉を述べました。

海外酪農視察研修を計画

きたみらい酪農青年部総会

きたみらい酪農青年部（山内誠部長）は4月1日、JAきたみらい訓子府地区事務所で第3回通常総会を開き、8地区から63人の部員が出席しました。

部員間の連携と交流を強化し、酪農振興の発展を図るなどの活動方針を決め、役員改選で新部長に小山勇樹さん（置戸地区）を選びました。山内部長は開会挨拶で、「国政の動

向を注視し、JAや関係機関とともに手を携え地域の農業経済を守り発展させる運動の取り組みが必要」と部員に呼び掛けました。

来賓のJAきたみらいの坂下専務

は「きたみらい酪農の柱となつていい青年部組織の支援強化を図るので、仲間作りに励み、情報収集に努めて個々の経営に生かしてほしい」と挨拶を述べました。

なお、新三役は小山新部長に加え、



▲小山部長(左)を始めとした新役員のみなさん

副部長に阿部哲也さん（北見地区）と小野寺健太さん（温根湯地区）の2人を選出しました。



▲大橋組合長(右)に、JAみらいを代表して見舞金を渡す本橋組合長(福島県伊達市のJA伊達みらい)

第3回

理事会報告

●平成23年4月28日(木)

4月28日、午前9時00分より第3回定例理事会が開催され、報告事項9件、議決事項10件が協議され、原案通り承認されました。

【報告事項】

- ①組合員状況報告について
- ②財務状況報告について
- ③株式の転換について
- ④平成22年産共計玉ねぎ・馬鈴しょの選果状況及び地区共計価格について
- ⑤生乳生産状況及び固体取引価格状況について
- ⑥平成23年度畜産物価格の決定内容について
- ⑦購買部門の連休対応について
- ⑧馬鈴しょ施設整備検討委員会の協議経過について
- ⑨人事の発令について

【議決事項】

- ①出資減口及び持分譲渡について
- ②固定資産の取得及び処分について
- ③外部出資の増口について
- ④諸規程の改定について
- ⑤行政庁に提出する業務報告書について
- ⑥地区運営委員会委員の選任と委嘱について
- ⑦理事報酬の配分について
- ⑧平成22年産もち米の取扱いについて
- ⑨平成23年産青果物取扱要領（7品目）の設定について
- ⑩JAきたみらいボジティプリスト損害見舞金支出要領の改訂について

新・ご当地グルメ
グランプリ北海道

7月に北見市で開催

地場産食材にこだわった企画開発型ご当地グルメの祭典、「新・ご当地グルメグランプリ北海道2011オホーツク北見」が7月2日、3日の両日、北見市端野町で開催されます。行政や関係機関などでつくる実行委員会の初会合が4月1日、北見経済センターで開かれ、JAきたみらいも人的支援やタマネギなど食材供給で協力します。



▲上位入賞が期待されるオホーツク北見塩やきそば

ツク北見塩やきそば推進協議会会長が「この当地グランプリは、食によるまち興しが最大限に發揮する」と表明し、小谷毎彦北見市長も「最大限の支援をしたい」と意気込みを示しました。実行委員長に梶井代表選び、組織態勢や実施概要などを決めました。オホーツク北見塩やきそばは、タマネギやホタテなど地元食材を使つたご当地グルメとして平成19年4月から市の飲食店で提供が始まり、すでに42万4千食が販売される人気グルメとなっています。

同グランプリは昨年、上川管内美瑛町で初めて開かれました。北見市での開催は、神奈川県で昨年開かれた「B級グルメの祭典・B1グランプリ」にオホーツク北見塩やきそばが初参戦し、全国46団体中10位の好成績を収めたことから誘致を決めたものです。今回は端野町内のメルヘン広場で、道内14市町村が参加を予定しています。富良野オムカレー、美瑛カレーうどん、別海ジャンボホタテバーガーなど各地ご自慢の逸品が、地元北見塩やきそばとともに、来場者の投票でナンバーワンを競います。

同委準備会の梶井敏幸代表（オホーツク北見塩やきそば）は、「この地元の特産物をPRする機会として、北見市で開催されることを喜んでいます。実行委員会では、誘致に奔走した



▲行政、企業、関係団体から60名が出席して開かれた第1回実行委員会



【材料:4人前】

タマネギ	4個
ハム	4枚
カイワレダイコン	1/2パック
顆粒コンソメスープの素	大さじ1杯
カタクリ粉	小さじ1杯
塩 コショウ	

丸ごとタマネギのスープ

【エネルギー94kcal・塩分1.4g・調理時間15分】

【作り方】

- ①タマネギは皮をむいて上下を切り落とし、上部に十字に切り込みを入れる。ハムは千切りにし、カイワレダイコンは根本を切り落とす。
- ②①のタマネギをそれぞれラップに包み、1個ずつ電子レンジ(500W)で2~3分加熱する。
- ③鍋に水4カップとコンソメスープの素を入れ、火に掛ける。沸騰したら、①のハム、②を入れ、5~6分煮る。
- ④③に①のカイワレダイコンを加え、塩、コショウ各少々をふって味をととのえ、火を止める。
- ⑤④のタマネギを取り出し、器に盛る。スープに倍量の水で溶いたカタクリ粉を加えてとろみをつけ、タマネギにかける。

一家の光2011年3月号料理カードから
調理:大越郷子

おひさまサラダ COOKING

♥おいしいものの大好き!♥



【材料:4人分】

長ネギ(白い部分)	6本
スープ(顆粒コンソメスープの素小さじ2杯を湯1 1/2カップで溶く)	
	1 1/2カップ
ピザ用チーズ	80g
オリーブオイル 塩	
粗びきコショウ 長ネギ(青い部分)	

長ネギのチーズ焼き

【エネルギー163kcal・塩分1.4g・調理時間10分】

【作り方】

- ①長ネギは7~8cm長さに切り、縦に1本切り込みを入れる。
- ②フライパンにオリーブオイル大さじ2杯を熱し、①を入れ、菜箸で転がしながらこんがり焼き色がつくまで焼く。
- ③②にスープを加え、3~4分煮て、塩少々を加えて味をととのえる。汁けがなくなってきたらチーズをのせ、火を止め、チーズが溶けるまで1~2分おく。
- ④③を器に盛り、粗びきコショウ少々をふって、斜めにごく細切りにした長ネギ(青い部分)を少々ちらす。

一家の光2011年2月号料理カードから
調理:大越郷子

編集後記

- ・1号1号と積み重ね、8年4ヶ月の年月を要して「おひさまサラダ」創刊100号を組合員皆さんにお届けすることができました。「合併記念号」から編集に携わってきた1人として、言葉に表せないほどの喜びでいっぱいです。これも偏に、取材を快くお引き受けいただいた組合員及び家族の皆さん、取材活動に奔走した広報編集委員のご協力の賜物と感謝する次第です。
- ・特集で1号から100号までの表紙を改めて掲載しましたが、いろいろな思い出がよみがえります。毎号、「見られる、読まれる広報誌」を心に抱き、「訴求力のある写真と分かりやすい文章で紹介しなければ」と言い聞かせながら、編集に取り組んできました。これからも、この気持ちを忘れずに「すぐ刺に見えても、なかなか到達しない頂上」を目指し、編集委員一同、頑張っていきたいと思いますので、組合員の皆さん、今後とも宜しくお願い致します。

(樋 仁志)

JAきたみらい概要

(平成23年4月20日現在)

- ・組合員数(正) 1,840人
- ・組合員数(准) 6,003人
- ・組合員戸数(正) 1,261戸
- ・貯金 97,930百万円
- ・貸出金 17,958百万円
- ・出資金 5,082百万円